



第1学年〇組 保健体育科（保健分野）学習指導案

指導者 ○〇 ○〇

1 単元名 (2) 安全な社会生活 (イ) 応急手当 ㊸心肺蘇生法

2 単元の目標

- (1) 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができるようにする。

(知識及び技能)

- (2) 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、障害の悪化を予防したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。

(思考力, 判断力, 表現力等)

- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

(学びに向かう力, 人間性等)

3 単元について

- (1) 教材観
(2) 生徒の実態
(3) 指導観

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 心肺蘇生法等の応急手当には、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。(知識) ② AEDなどを用いて心肺蘇生法を行うことができる。(技能)	① 心肺蘇生について、分析したり、評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	① 心肺蘇生法について、実習、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画 (2時間)


	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	○気道確保と人工呼吸の手順と方法について理解することができるようにする。 1 人工呼吸が必須でない理由について考えている。 2 人工呼吸が必要になる場合について考えている。 3 人工呼吸を行う際のリスクと、そのリスクを軽減する方法を理解している。 4 気道確保の仕方を理解している。	①		①	観察 ワークシート
2	○AEDなどを用いて心肺蘇生法ができるようにする。 1 胸骨圧迫の重要性について理解している。 2 AEDなどを用いて心肺蘇生法を行うことができるようにする。 3 グループ内で心肺蘇生について分析したり、評価をしたりしながら実習を行っている。	②	①		観察 ワークシート

6 本時の展開 (1/2時間)

(1) 本時の目標

- ◎ 気道確保と人工呼吸ができるようにする。 (知識及び技能)
- 心肺蘇生法について、実習、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。 (主体的に学習に取り組む態度)

(2) 展開

時間	学習内容・学習活動	○教師の指導・支援 ◆は評価規準と方法
導入 5分	<p>1 倒れている人を発見したときどのように対処するのかを再確認する。</p> <p><予想される生徒の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の安全確認 ・反応の確認 ・応援要請 ・救急車要請 ・胸骨圧迫 ・人工呼吸 ・AEDの準備 	<p>○幼稚園や保育園から中学校までの学習内容の再確認のため、生徒の意見を引き出し板書する。</p> <p>○JRC 蘇生ガイドライン 2020 (以下、「ガイドライン」とする。) 一次救命処置「市民用BLS アルゴリズム」(P57) で、救命処置に関する一連の流れを確認する。</p> 
	<p>2 本時の説明</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">気道確保と人工呼吸の手順と方法を理解して、できるようにしよう。</p>	
展開 35分	<p>3 人工呼吸が必須でない理由について考える。</p> <p>発問</p> <p>「人工呼吸の技術と意思があれば」人工呼吸を実施してもよいとされているが、必ず行わないのはなぜだろう？</p> <p><予想される生徒の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが人工呼吸をできる訳ではないから。 ・感染症のリスクがある。 ・胸骨圧迫を優先したほうがいいから。 <p>4 人工呼吸が必要になる場合について考える。</p> <p>発問</p> <p>体内に酸素が少なく、人工呼吸が必要になる場合とはどのような場合があるだろうか？</p> <p><予想される生徒の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動中などの動いている時に倒れた場合 ・窒息などの息ができなくて倒れた場合 	<p>○前出の「市民用BLS アルゴリズム」の中で、人工呼吸の位置づけを、再度確認させる。</p> <p>※指導の際の参考 ガイドライン一次救命処置 (P9)</p> <p>○突然倒れた人の体内には、十分な量の酸素が残っていることを確認する。</p> <p>○それゆえ、胸骨圧迫>人工呼吸という考え方になり、胸骨圧迫を優先して行うことが重要であることを確認する。</p> <p>○考えが深まらない生徒に対しては、酸素が消費される場面を想像することができるよう、発問を付け加える。</p> <p>○溺水や窒息などのものがき苦しむような場合、体内の酸素が大量に消費され、人工呼吸が必要になることを理解させる。</p> <p>○体の小さい子供の場合、大人とは異なり体内の酸素量が少ないため、人工呼吸を行うことが望ましいことを理解させる。</p> <p>※指導の際の参考 ガイドライン一次救命処置 (P9)</p>

<p>5 人工呼吸を行う際のリスクと、そのリスクを軽減する方法について考える。</p> <p>発問1 人工呼吸を行う際に生じるリスクには、どのようなものがあるだろうか？ <予想される生徒の意見> ・感染症にかかるリスクがある。</p> <p>発問2 そのリスクを軽減する方法はあるだろうか？ <予想される生徒の意見> ・消毒してから人工呼吸をする。 ・直接触れないように人工呼吸を行う。</p> <p>6 舌根沈下と気道確保の行い方(頭部後屈顎先挙上)を理解し、気道確保ができるようにする。 <練習用の教材がある場合> ① グループを作る。 (4人を目安とする。) ② 交代で気道確保を行う。</p>  <p><練習用の教材がない場合> ① ペアを作る。 ② 仰向けになっているペアに対して、気道確保を行う。</p> <p>7 人工呼吸の行い方を理解し、できるようにする。 <練習用の教材がある場合> ① 6のグループで、交代で実習を行う。 <練習用の教材がない場合> ① その場で、人工呼吸の一連の動作を行う。</p>	<p>○唾液や血液、嘔吐物等によって、感染症へのリスクが生じる場合があることを理解させる。 ※指導の際の参考 ガイドライン一次救命処置 (P9) ガイドライン補遺新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対策 (P10)</p> <p>○感染症のリスクを軽減させながらも、人工呼吸を行うことのできる器具等があることを理解させる。 ※指導の際の参考 ガイドライン補遺新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対策 (P10)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組んでいる。 (主体的に学習に取り組む態度) 【観察・ワークシート】</p> </div> <p>○舌根沈下についての解説を行う。 ○気道確保(頭部後屈顎先挙上)の行い方についての解説を行う。 ○机間指導を行う。</p> <p>○マスクを着用したまま実習を行わせる。 ※指導の際の参考 ガイドライン一次救命処置 (P9)</p> <p>○人工呼吸の行い方についての解説を行う。 ○鼻をつまみながら気道確保を行うこと、息を吹き込むときに胸の上がりを確認することを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆気道確保と人工呼吸を行っている。 (知識・技能) 【観察・ワークシート】</p> </div>
---	---

ま と め 10 分	8 本時のまとめ、次時の予告、感想の記入	<p>○気道確保と頭部後屈顎先挙上の行い方を理解するとともに、感染症等へのリスクを軽減しながら人工呼吸を行うことがポイントであることを伝える。</p> <p>○胸骨圧迫の重要性についても再度確認する。</p> <p>○次時は、これまでの学習を生かした AED などを用いた心肺蘇生法の総合演習の形式であることを伝える。</p>
------------------------	----------------------	---

(3) 資料

【気道確保と人工呼吸をできるようにしよう】	
組 番 氏名	
◎人工呼吸が必須ではない理由	◎人工呼吸が必要になる場合とその理由
◎人工呼吸を行う際のリスク	◎そのリスクを軽減する方法
◎気道確保の行い方	
◎人工呼吸の行い方	
【感想】	

7 本時の展開 (2/2時間)

(1) 本時の目標

- ◎ AEDなどを用いて心肺蘇生法を行うことができる。 (知識及び技能)
- 心肺蘇生について、分析したり、評価したりすることなどができるようにするまた、筋道を立ててそれらを説明することができるようにする。 (思考力、判断力、表現力)

(2) 展開

時間	学習内容・学習活動	○教師の指導・支援 ◆は評価規準と方法
10分	<p>1 前時の復習 <指示内容> ペアになり以下について確認する。</p> <p>① 人工呼吸が必須ではない理由 ② 人工呼吸が必要になる場合 ③ 人工呼吸をする際のリスクと、そのリスクを軽減する方法 ④ 気道確保と人工呼吸の行い方</p> <p>2 本時の説明</p>	<p>○ガイドライン一次救命処置「市民用BLSアルゴリズム」(P57)で人工呼吸の位置づけを確認し、本時の実習と関連づけることができるよう指導する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">AEDなどを用いて心肺蘇生法ができるようにしよう。</div>	
35分	<p>3 胸骨圧迫の重要性について理解を深める。 発問 胸骨圧迫が重要である理由を説明しよう。 <予想される生徒の意見> ・全身に血液を送るため。 ・脳に血液を送るため。</p> <p>4 AEDなどを用いて心肺蘇生法の行う際の手順を確認する。</p> <p>5 AEDなどを用いて心肺蘇生法を行う。 <指示内容> ① 4人グループを作る。 ② A: 第一発見者 B: 119番通報を行う者 C: AEDを持ってくる者 D: 撮影者の役割を決める。3人グループの場合は、BとCを1名とする。 ③ Cが状況設定カードを引く。 ④ Cの説明や指示に応じて、Aが一連の心肺蘇生法を行う。 ⑤ 人工呼吸(2回)と胸骨圧迫(30回)を2セット行う。その後、状況設定カードに従いAEDを使用する。</p>	<p>○胸骨圧迫は、止まってしまった心臓の代わりに血液を循環させる重要な役割を担っていることを再確認する。</p> <p>○脳を守るために重要であることだけでなく、AEDを使用するまで心室細動を長引かせ、救命の可能性を高めるためにも非常に重要であることを理解できるようにする。</p> <p>○ガイドライン一次救命処置「市民用BLSアルゴリズム」(P57)で一連の流れを確認させる。</p> <p>○スムーズに実習が進むよう、タイムマネジメントを行う。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">◆AEDなどを用いて心肺蘇生法を行っている。 (知識・技能) 【観察】</div>	

	<p>⑥ ②～④を繰り返し、全員が心肺蘇生法を行い、その様子を撮影する。</p> <p>6 グループ内で心肺蘇生について分析、評価を行う。</p> <p><指示内容> グループごとに振り返りを行う。</p> <p>① 1人ずつ撮影した動画を見直す。</p> <p>② その際、チェックシートを活用しながら振り返る。</p> <p>③ メンバーの良かった点や改善すべき点などを指摘する。</p> <p>④ 自己の課題となっている点について考えを深め、改善のための方策を書き出す。</p>	<p>○考えが深まらない生徒に対しては、ワークシートのチェックポイント1～13を見ながら、できていた点と改善すべき点について整理するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆心肺蘇生について、分析したり、評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 (思考・判断・表現) 【ワークシート(授業後)】</p> </div>
<p>まとめ 5分</p>	<p>7 本時のまとめ、感想の記入</p>	<p>○自身の安全を第一にすることを前提として、これまでの学習を生かし、目の前で人が倒れたり倒れている人を発見したりした際には、速やかな対応が求められることを伝える。</p>

(3) 資料

【総合演習チェックリスト】			
		組 番 氏名	
1	周囲の安全確認をしたか？	8	鼻をつまみながら頭部後屈顎先挙上 ができていたか？
2	反応の確認後、応援要請(119番通報とAED)を行ったか？	9	息を吹き込むとき、胸の上がりを確認しながらできたか？
3	5～10秒程度で呼吸確認を行ったか？	10	胸骨圧迫:人工呼吸=30:2で実施できたか？
4	呼吸がないことの確認後、すぐに胸骨圧迫を開始できたか？	11	AEDの到着後、すぐに電源を入れたか？
5	しっかりと「赤いハート」が鳴ったか？	12	パッドを正しく装着できたか？(特に、 脇腹のパッド)
6	100～120回/分のリズムで押せたか？	13	ショックを実行する際に、誰も触っていないことを確認したか？
7	掛け声をかけながら、絶え間ない胸骨圧迫ができたか？		
メンバーからのフィードバック		感想	

